

株式会社アドウェイズ（東証マザーズ2489）
2014年3月期第3四半期 決算説明会

2014年1月31日
代表取締役社長 岡村陽久

目次

1	第3四半期の実績	 P.2
2	事業概況	 P.10
3	業績予想	 P.21
4	補足資料	 P.24

1

第3四半期の業績

1. 第3四半期の業績 ～累計

【累計】 当四半期の業績と前年同四半期比較

(単位：百万円)

	2014年3月期 第3四半期（累計）	前年同四半期比 2013年3月期第3四半期（累計）		
		実績	増減額	増減率
売上高	22,272	15,582	+ 6,690	+ 42.9%
売上総利益	3,959	2,766	+1,192	+ 43.1%
販管費	3,425	2,509	+916	+ 36.5%
営業利益	533	257	+276	+107.5%
経常利益	489	313	+176	+56.2%
純利益	348	274	+74	+27.0%

売上高

前年同四半期比**66億9千万円の増加（42.9%増）**

営業利益

前年同四半期比**2億76百万円の増加（107.5%増）**

1. 第3四半期の業績 ～四半期

【四半期】 当四半期の業績と前四半期・前年同四半期比較

(単位：百万円)

	2014年3月期 第3四半期	前四半期比 2014年3月期第2四半期			前年同四半期比 2013年3月期第3四半期		
		実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
売上高	7,781	7,651	+130	+1.7%	5,826	+1,955	+33.6%
売上総利益	1,392	1,384	+7	+0.6%	1,014	+378	+37.3%
販管費	1,161	1,120	+41	+3.7%	896	+264	+29.5%
営業利益	230	263	▲33	▲12.7%	117	+113	+96.4%
経常利益	232	265	▲32	▲12.1%	124	+108	+87.5%
四半期 純利益	104	261	▲157	▲60.0%	213	▲108	▲50.8%

売上高

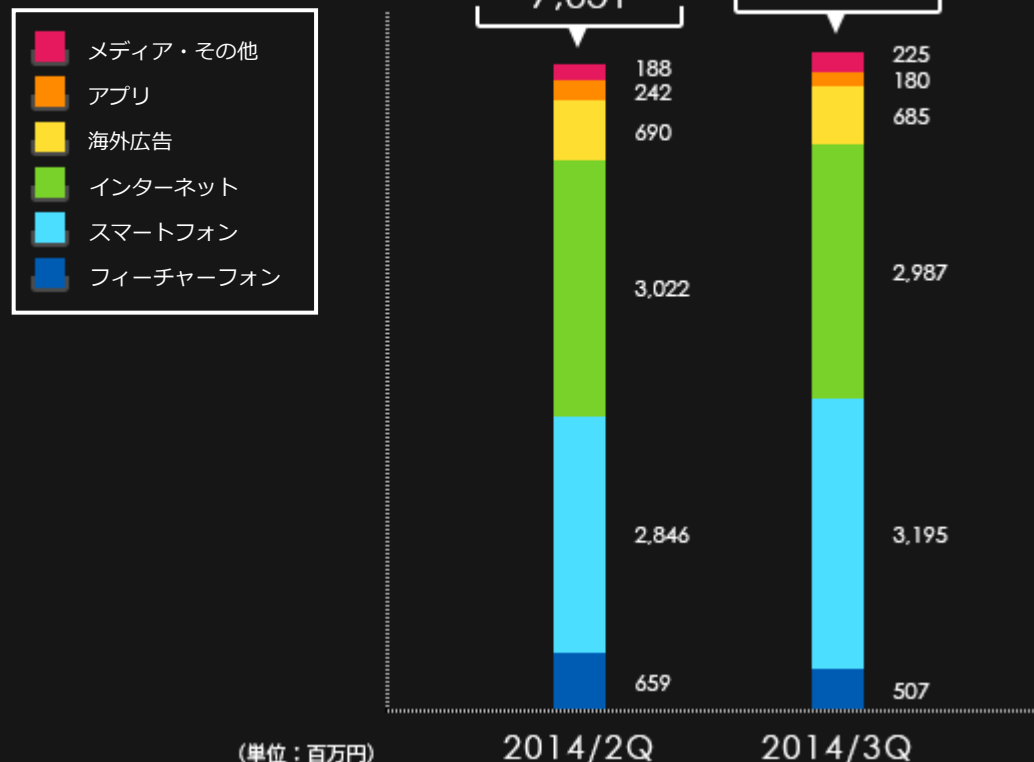
前年同四半期比**19億55百万円の増加 (33.6%増)**

営業利益

前年同四半期比**1億13百万円の増加 (96.4%増)**

1. 第3四半期の業績 ～売上高

売上高の前四半期との比較



国内広告事業：66億9千万円

前四半期比：1億61百万円増（2.5%増）

-スマートフォン：31億95百万円

→3億48百万円増（12.3%増）

-インターネット：29億87百万円

→35百万円減（1.1%減）

-フィーチャーフォン：5億7百万円

→1億52百万円減（23.1%減）

アプリ事業：1億8千万円

前四半期比：62百万円減（25.6%減）

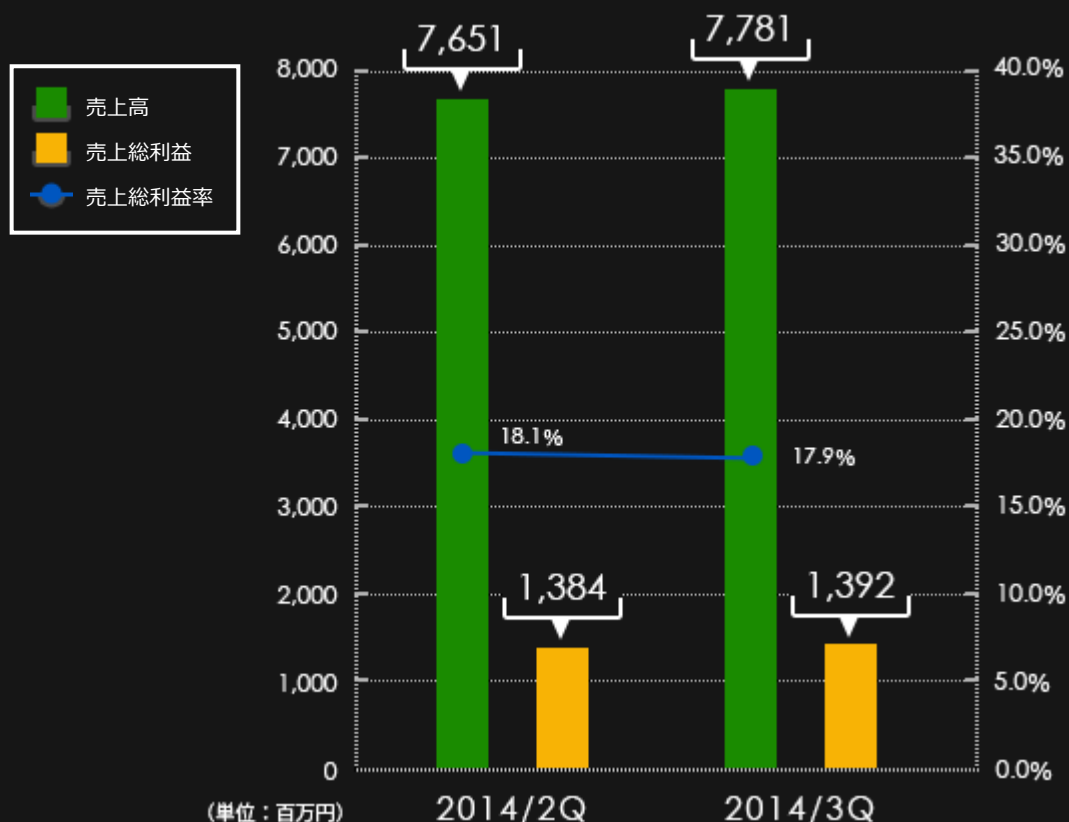
海外広告事業：6億85百万円

前四半期比：5百万円減（0.8%減）

※海外子会社の決算期は12月のため、当社グループにおける2014年3月期第3四半期の連結決算対象期間は7月～9月となります。

1. 第3四半期の業績 ～売上総利益

売上総利益の前四半期との比較



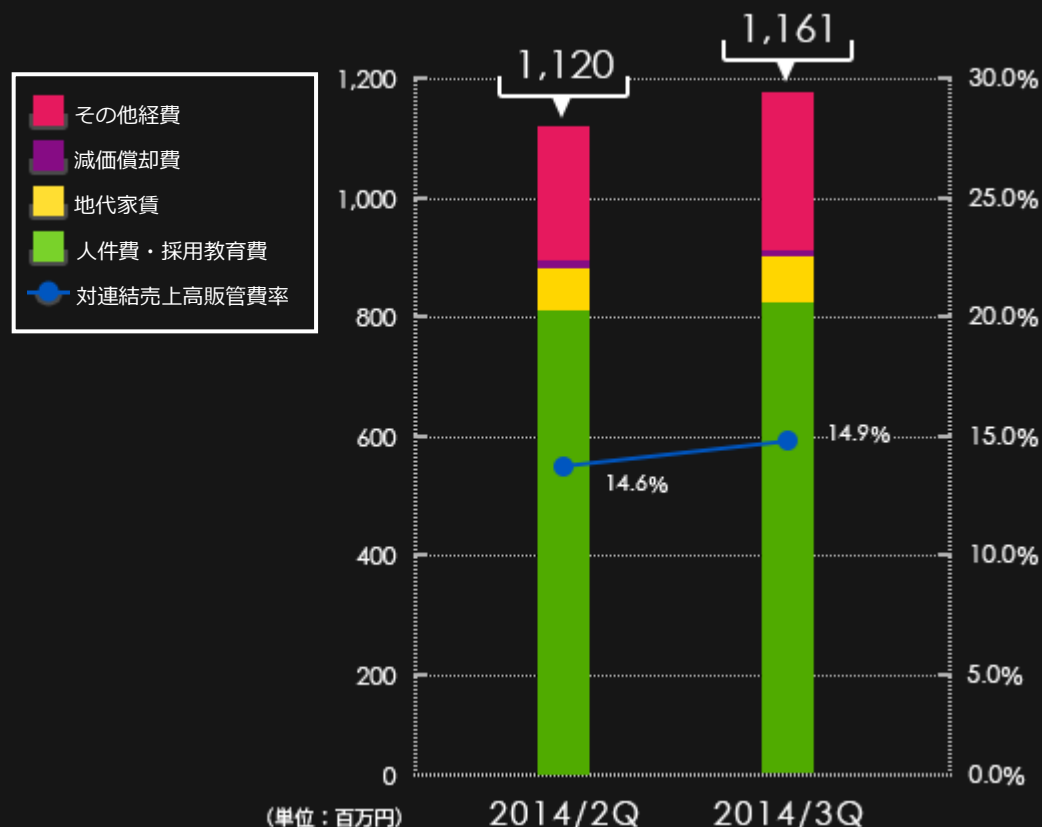
当四半期売上総利益：13億92百万円

前四半期比：7百万円増加（0.6%増）
売上総利益率：0.2%減少

引き続きスマートフォン広告を軸に
広告事業が好調のため、売上総利益が増加
前四半期にスポットの開発案件で上昇した
売上総利益率もほぼ横ばいで順調に推移

1. 第3四半期の業績 ～販管費

販管費の前四半期との比較



当四半期販売管理費：11億61百万円

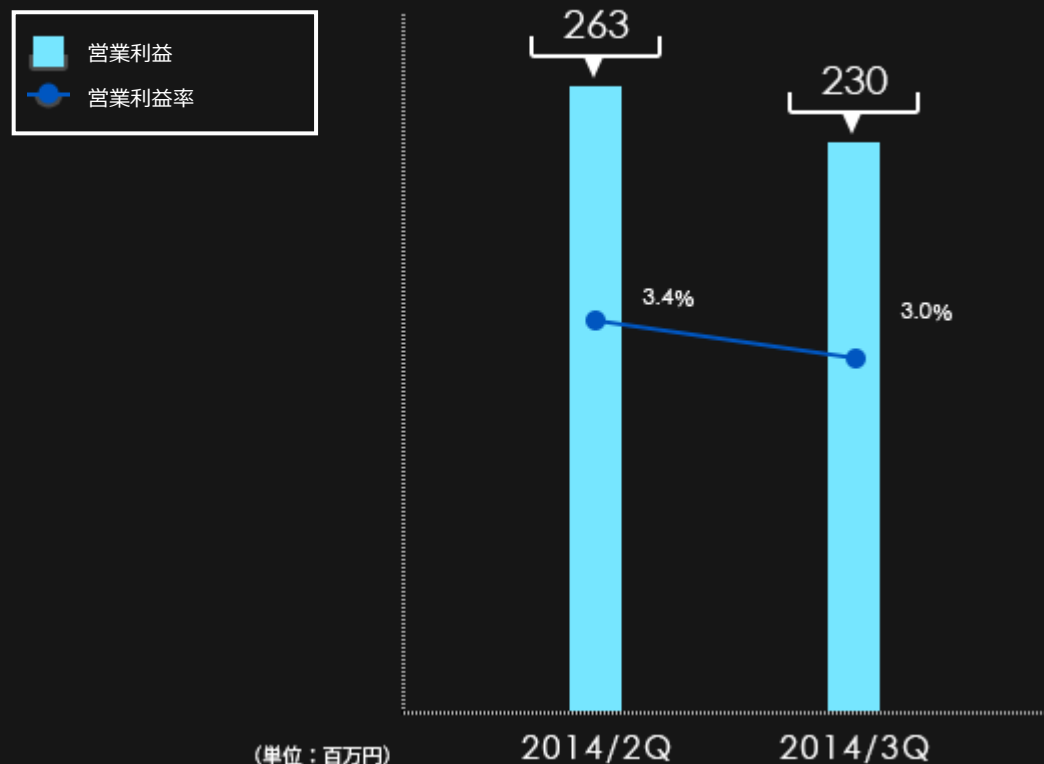
前四半期比：41百万円増（3.7%増）

販管費率：0.3%増加

採用関連費用および資金調達による支払報酬や税金の増加が主な要因

1. 第3四半期の業績 ～営業利益

営業利益の前四半期との比較



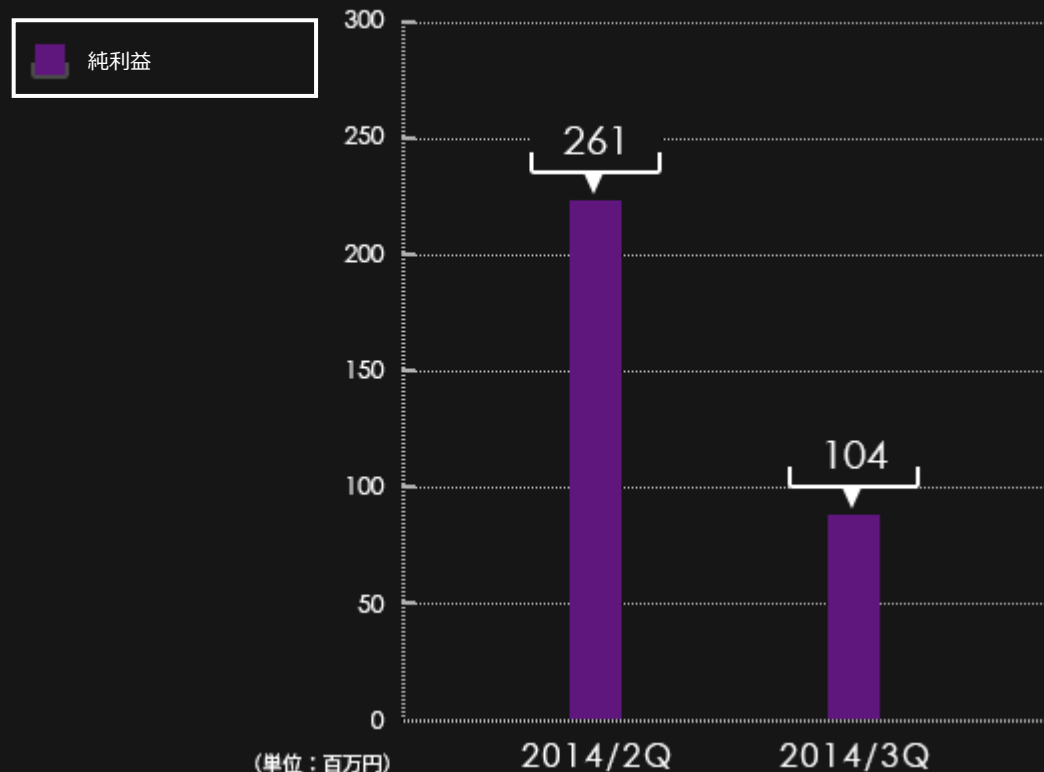
当四半期営業利益：2億3千万円

前四半期比：33百万円減（12.7%減）
営業利益率：0.4%減少

資金調達による経費増加が主な要因

1. 第3四半期の業績 ～四半期純利益

純利益の前四半期との比較



当四半期純利益: 1億4百万円

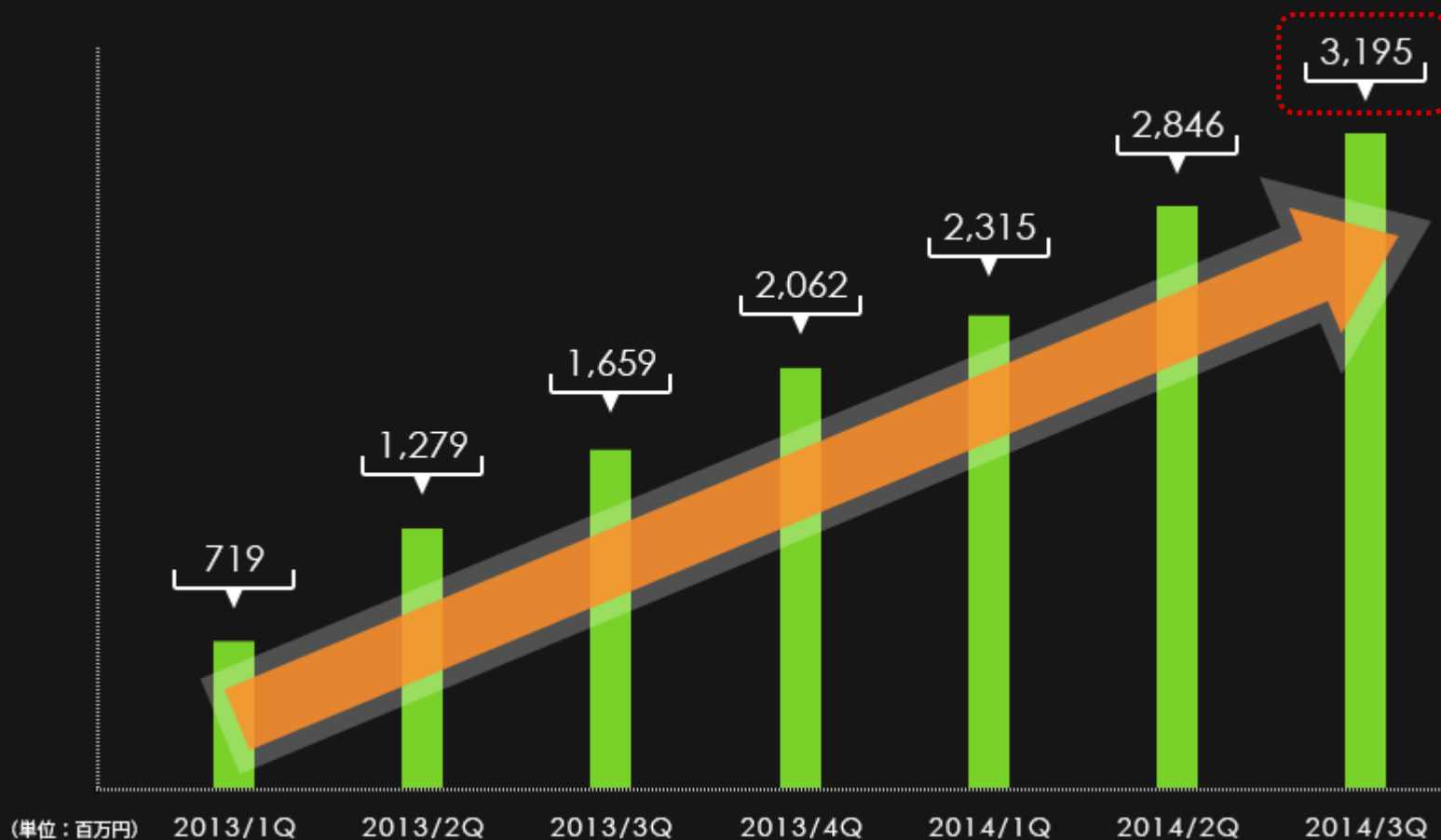
前四半期比：1億57百万円減

前四半期で、投資有価証券売却益による特別利益にて1億円超の純利益の一時的な増加があり、当四半期で、約35百万円の減損処理が発生したが、事業の業績は好調に推移したため、特殊要因を除けば、純増

2 事業概況

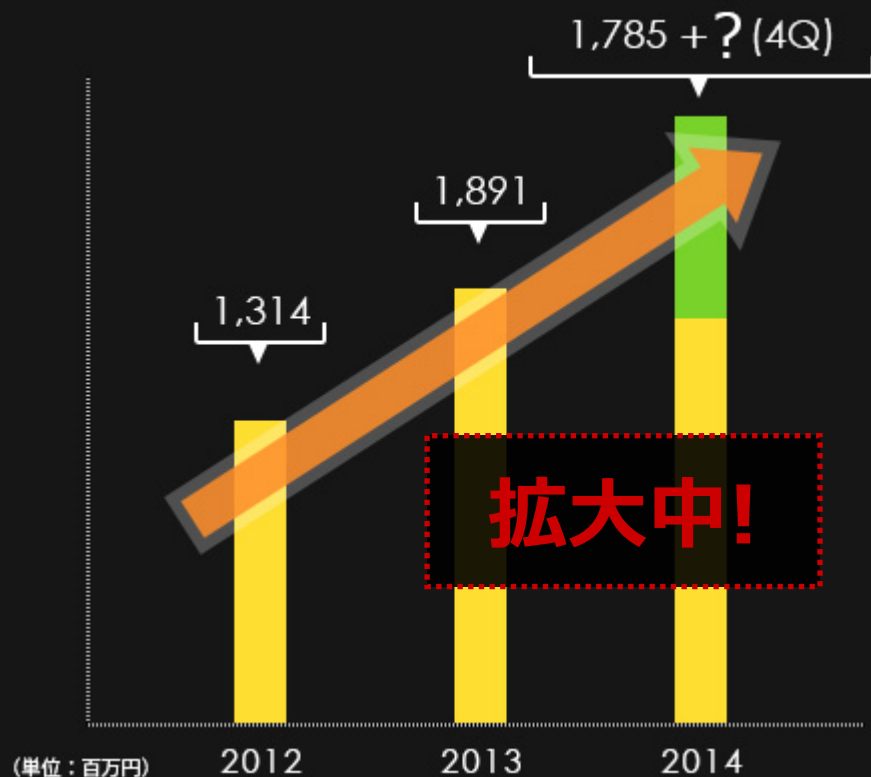
2. 事業概況 ～国内スマートフォン広告事業

アドウェイズのスマートフォン広告事業売上高



2. 事業概況 ～海外広告事業

アドウェイズの海外広告事業売上高



2014年3月期

東アジアのスマホ事業の強化



2013年3月期

海外拠点を拡大

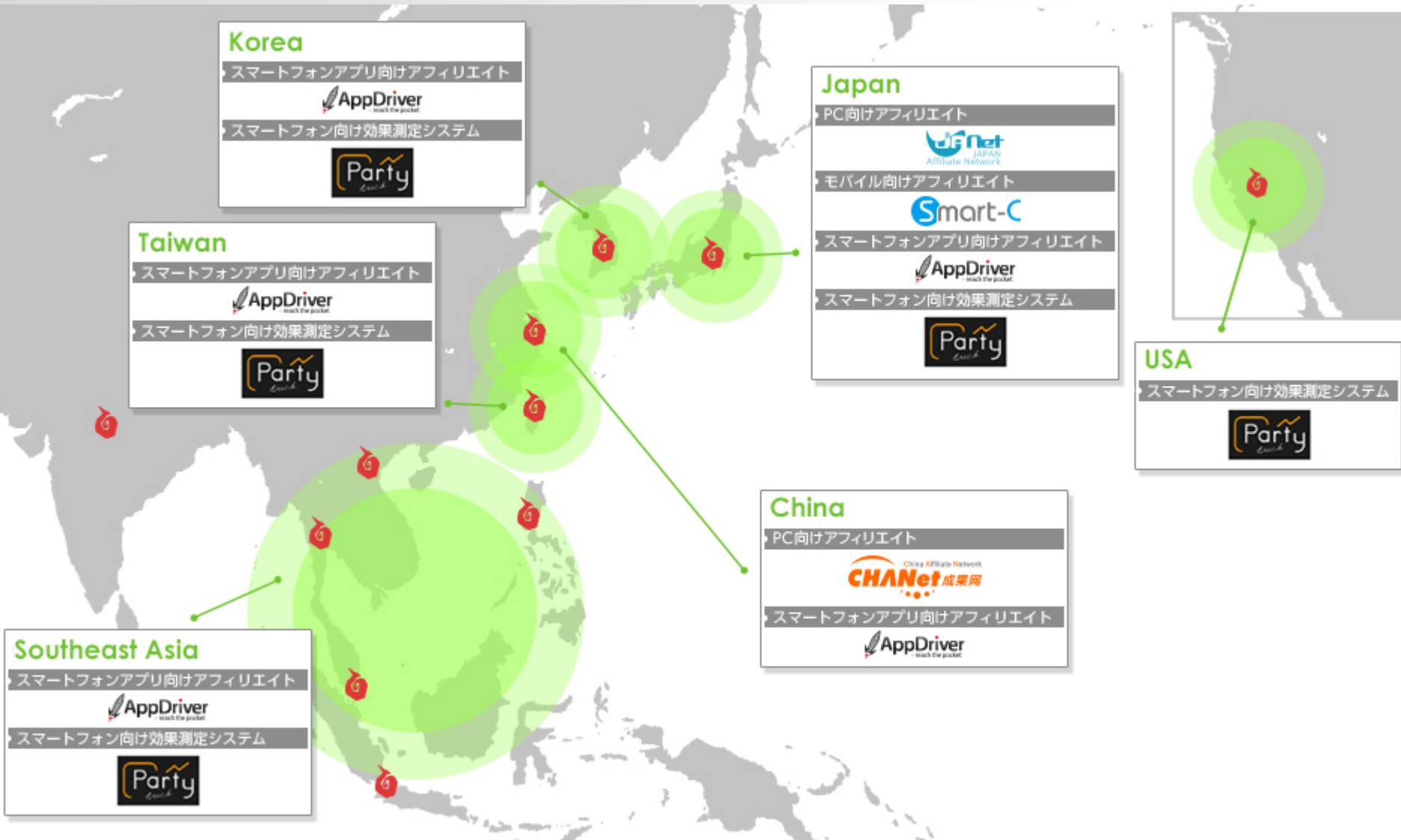


2012年3月期

東南アジアに進出



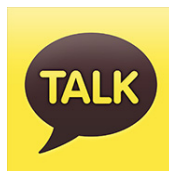
2. 事業概況 ～アドウェイズ展開中のサービス



2. 事業概況 ～当四半期の主な提携等



「LINEフリーコイン」の販路拡大
アジア市場に向けて販売開始



カカオゲームに「AppDriver」を導入し、
集客&収益化



世界最大級モバイルアドネットワークと
提携し、海外プロモーションの強化



データ分析ツール「5rocks」と
効果測定システム「Partytrack」を
組み合わせて、新商品を開発

2. 事業概況 ～カカオトーク

韓国最大の無料通話・無料メールスマホアプリ「カカオトーク」と業務提携



「カカオゲーム」
ユーザーへの
リワード広告配信へ

KAKAO

韓国最大の無料通話・無料メールスマホアプリ
「カカオトーク」の運営企業

カカオトーク

2013年11月18日時点



KakaoTalk

利用ユーザー数 約**1億人**以上
対応国 **230ヶ国**以上
対応言語 **13言語**

カカオゲーム

2013年7月時点

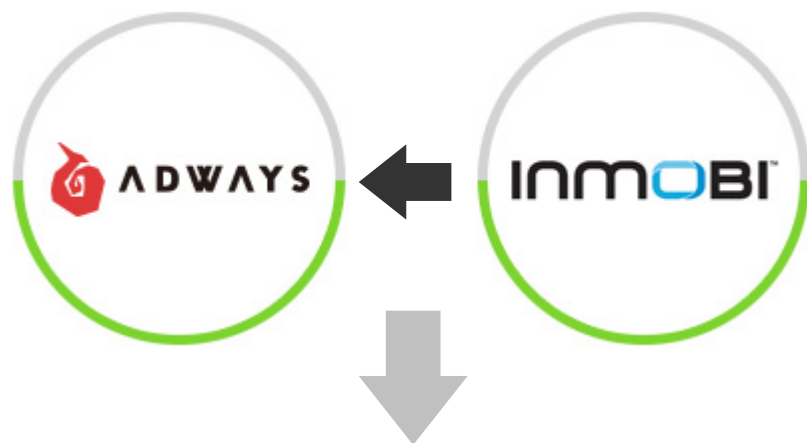


KakaoGame

累計ユーザー数
約**3億人**以上

2. 事業概況 ～InMobi

インモビ社と全世界に及ぶ包括的業務提携



この提携で・・・

① 強大な海外ネットワークを獲得

② 海外プロモーション時の 手厚い支援可能

① 全世界最大級のモバイルアドネットワーク

進出国 ●.....● **世界165ヶ国**
インプレッション数 ●.....● **月間1,200億以上**
広告配信可能ユーザー ●.....● **6億9,100万**

2014年1月30日時点

② 海外市場参入サポートの提供

- ・各国の市場状況等の情報提供
- ・共同でのイベント開催
- ・プロモーションの運用サポート
- ・クリエイティブサポート
- ・分析ツールの提供

etc...

2. 事業概況 ～5Rocks

5Rocks社は、グロースハックツール「5Rocks」を提供しています



グロースハックツールって？

詳細なゲームのデータを分析できます

リアルタイム統計情報・ユーザーのプレイ&課金状況

etc...

分析結果から最適なユーザー別キャンペーン

告知・割引販売・リワード・広告

etc...

**キャンペーン結果も即座に分析、
効率的なゲーム運営が可能に**

ゲーム最大収益化に効果的！名立たるゲーム会社が続々導入中！

2. 事業概況 ～5Rocks



マーケティング**効果測定**
取得情報の多様性・網羅性
スマホアプリアドネットワーク

ゲーム**データ分析**
リアルタイムでの情報解析
ゲームデベロッパーネットワーク



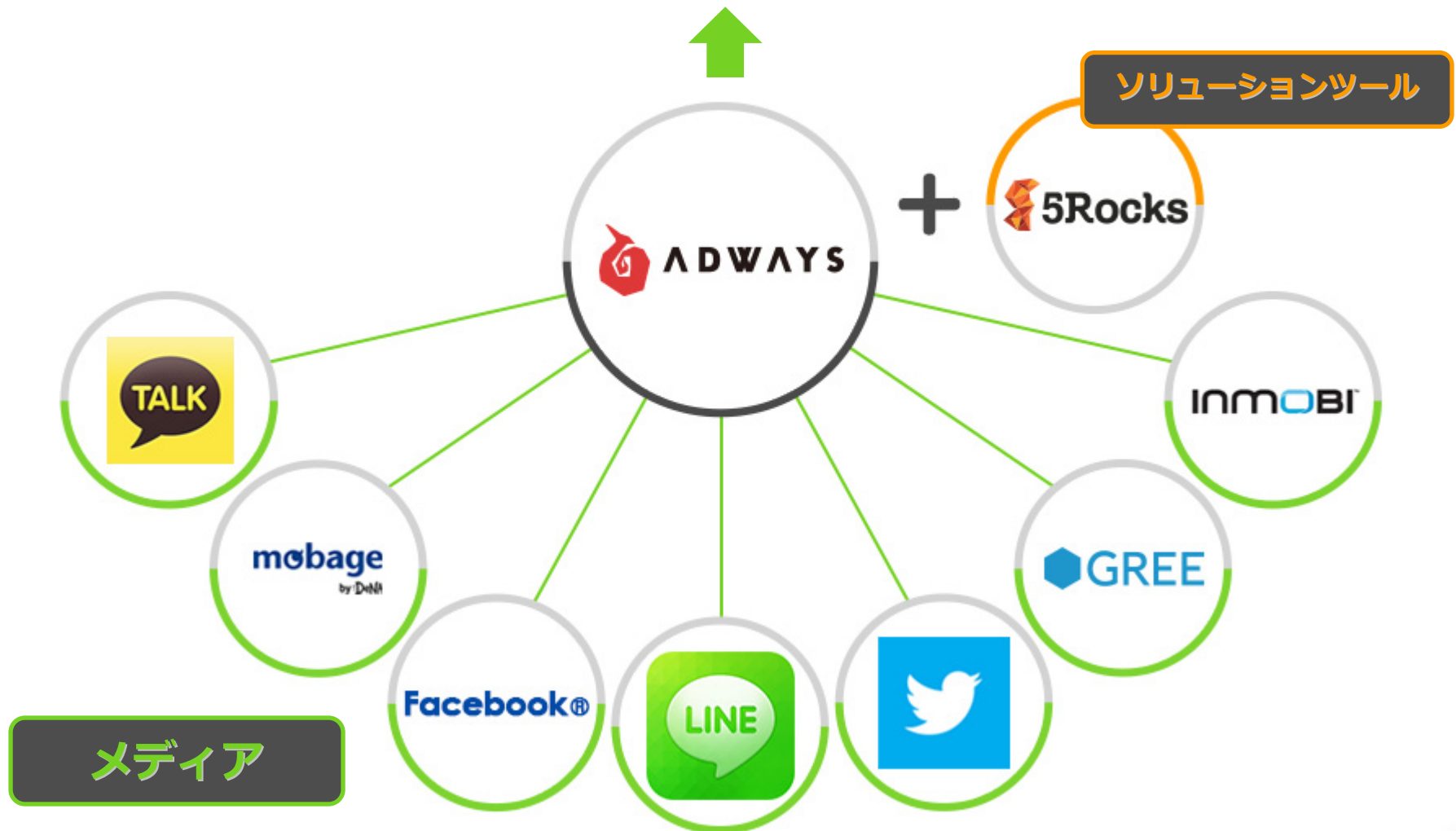
高性能の測定、高精度の分析が可能な新商品の共同開発へ



他社商品との徹底的な差別化の実現へ！

2. 事業概況 ～提携等によるサービスの差別化

クライアントへの圧倒的な差別化を目指す



2. 事業概況 ～今後の取り組み

投資

>

事業化

>

収益化

投資フェーズ
種をまく

成長フェーズ
芽を出す

収益フェーズ
花が咲く

2012~2013

2014~2015

2016~2017

3 通期業績予想

3. 通期業績予想

2014年3月期連結業績予想数値（2013年4月1日～2014年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	29,500	600	550	400
今回発表予想 (B)	30,000	790	770	500
増減額 (B - A)	500	190	220	100
増減率 (%)	1.7%	31.7%	40.0%	25.0%
当期業績累計 (C)	22,272	533	489	348
進捗率 (C/B)	74.2%	67.5%	63.5%	69.7%
(参考) 2013年3月期実績	22,639	413	429	304

◆ 要因：国内の広告事業が好調に推移

※小数点第2位を四捨五入

本日はありがとうございました

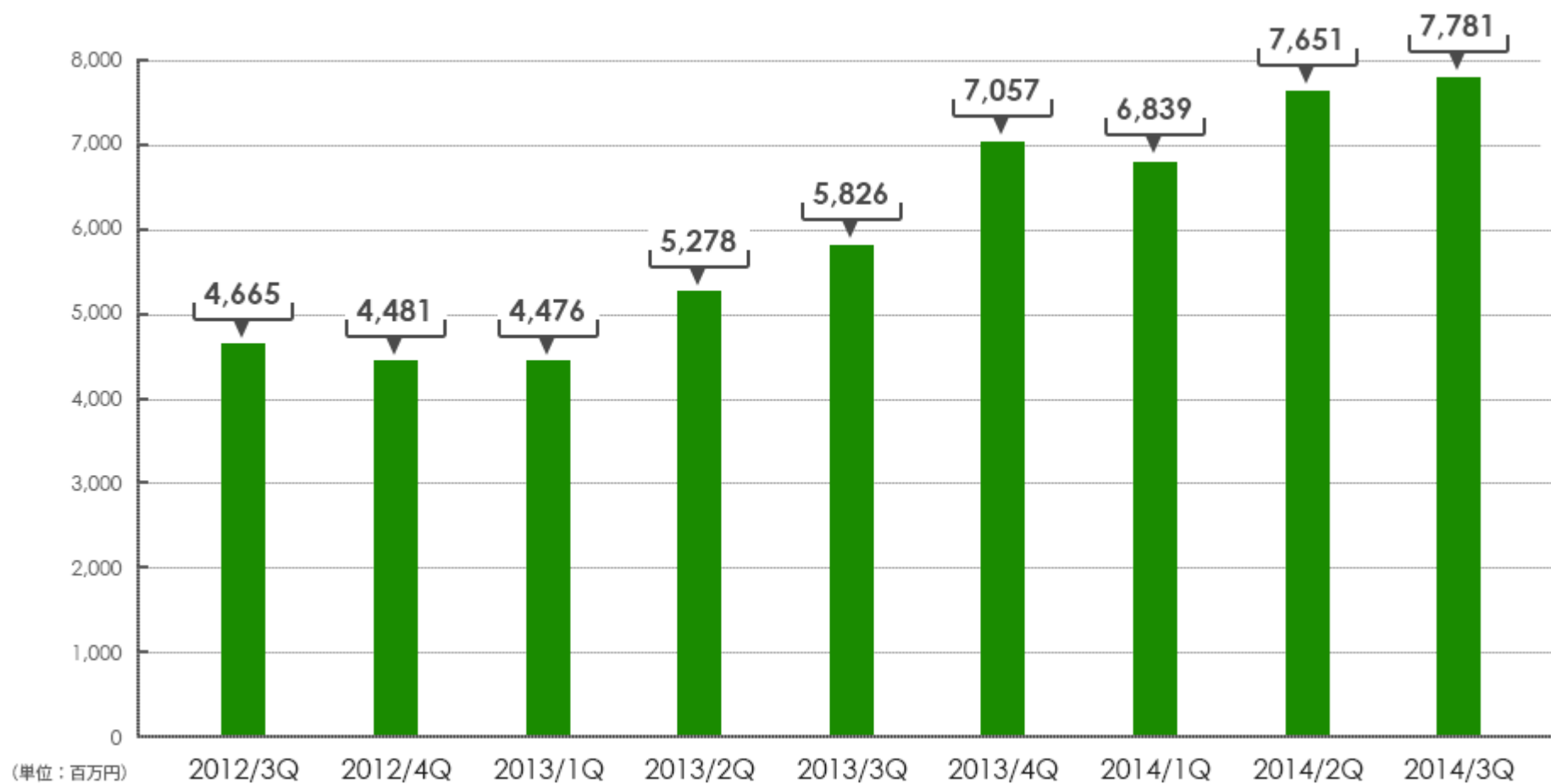
本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくははいまだに知られていないリスク、不確かさその他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2014年1月31日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

4 補足資料

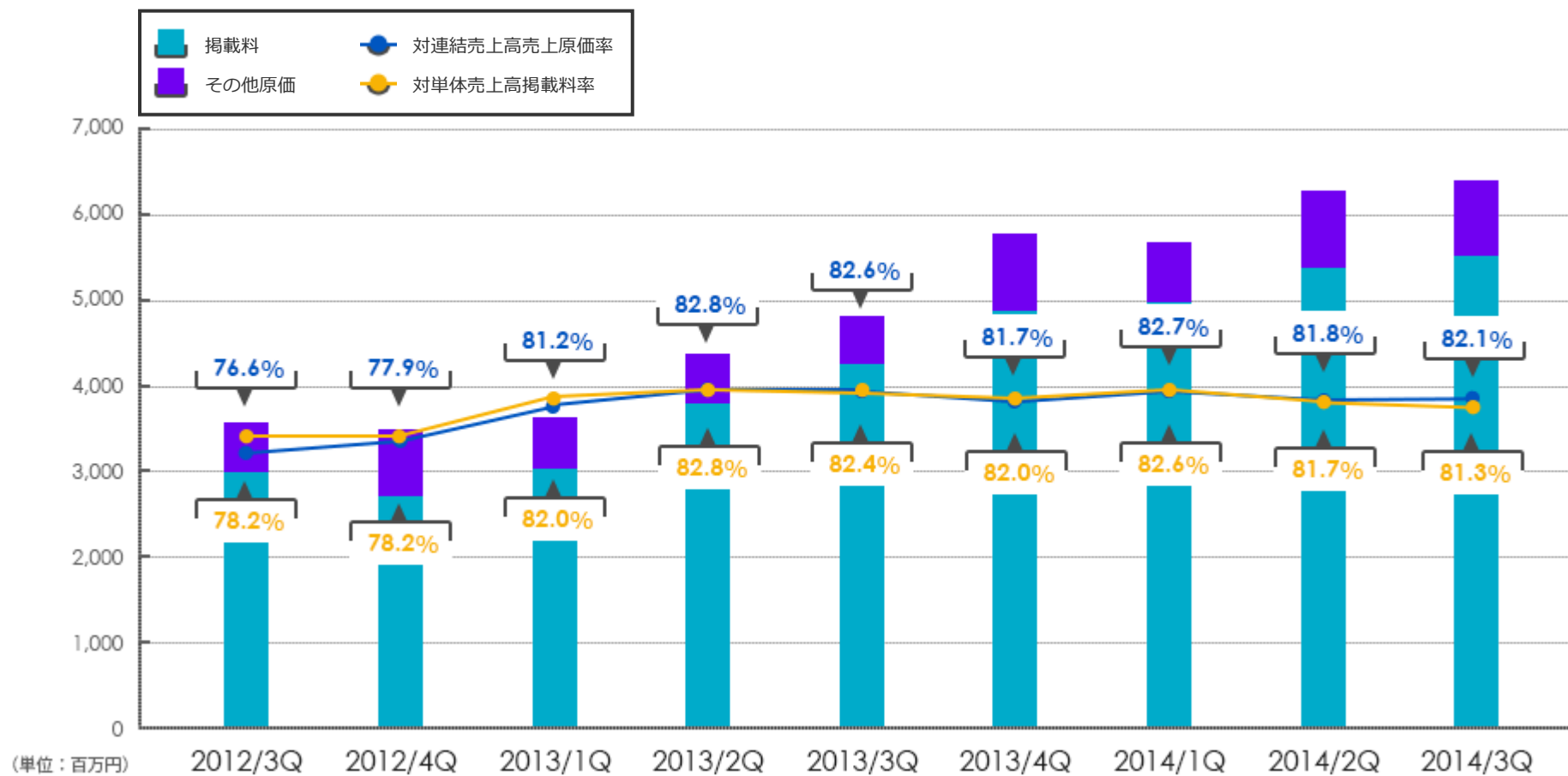
4. 補足資料

連結売上高 四半期推移



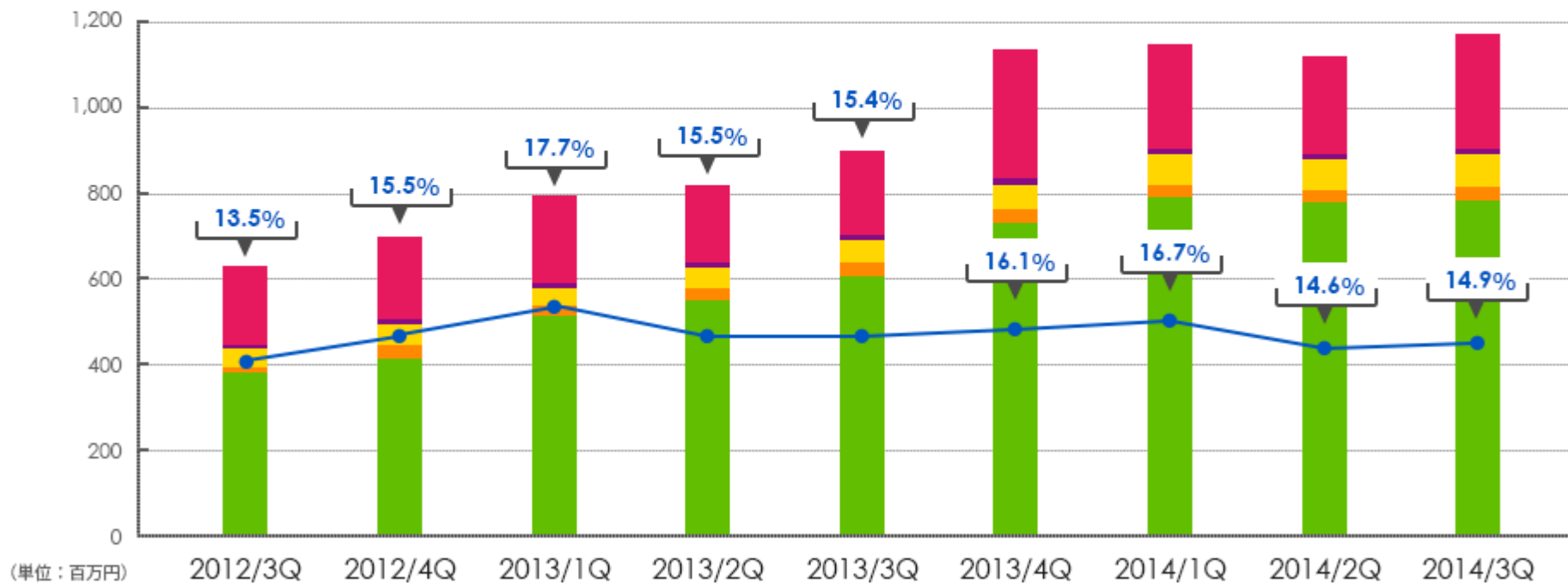
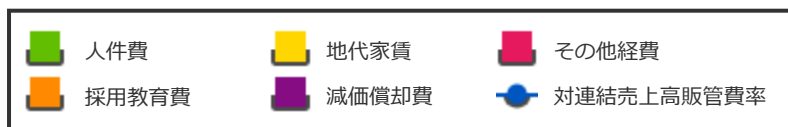
4. 補足資料

連結売上原価 四半期推移



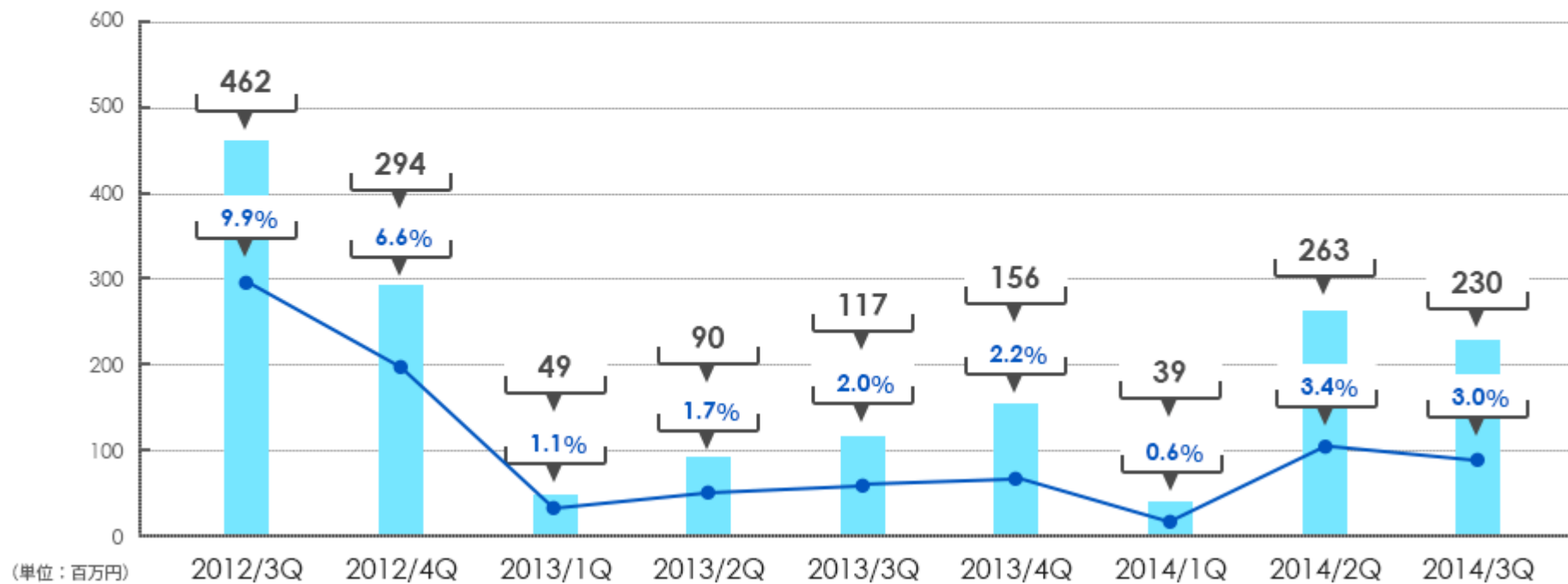
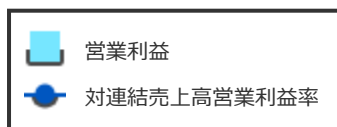
4. 補足資料

連結販管費 四半期推移



4. 補足資料

連結営業利益 四半期推移



4. 補足資料

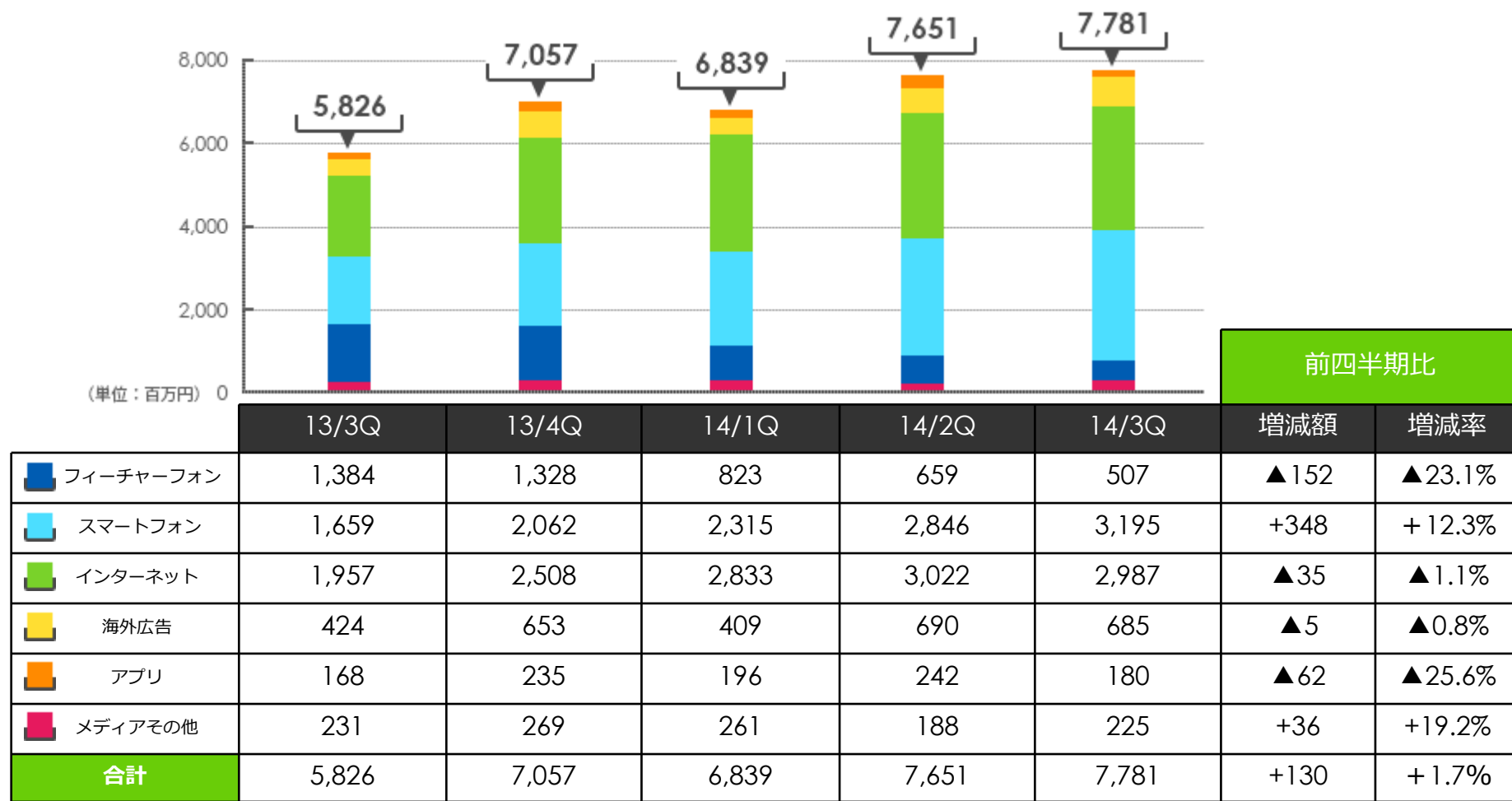
連結貸借対照表（前四半期比）

（単位：百万円）

	2014年3月期3Q	2014年3月期2Q	増減額	増減率
流動資産	15,036	8,888	+6,148	+69.2%
（現預金）	10,559	4,531	+6,027	+133.0%
固定資産	1,336	1,249	+87	+7.0%
総資産合計	16,372	10,137	+6,235	+61.5%
流動負債	4,857	4,856	+0	+0.0%
固定負債	55	52	+2	+5.1%
負債合計	4,912	4,909	+3	+0.1%
純資産合計	11,459	5,227	+6,231	+119.2%

4. 補足資料

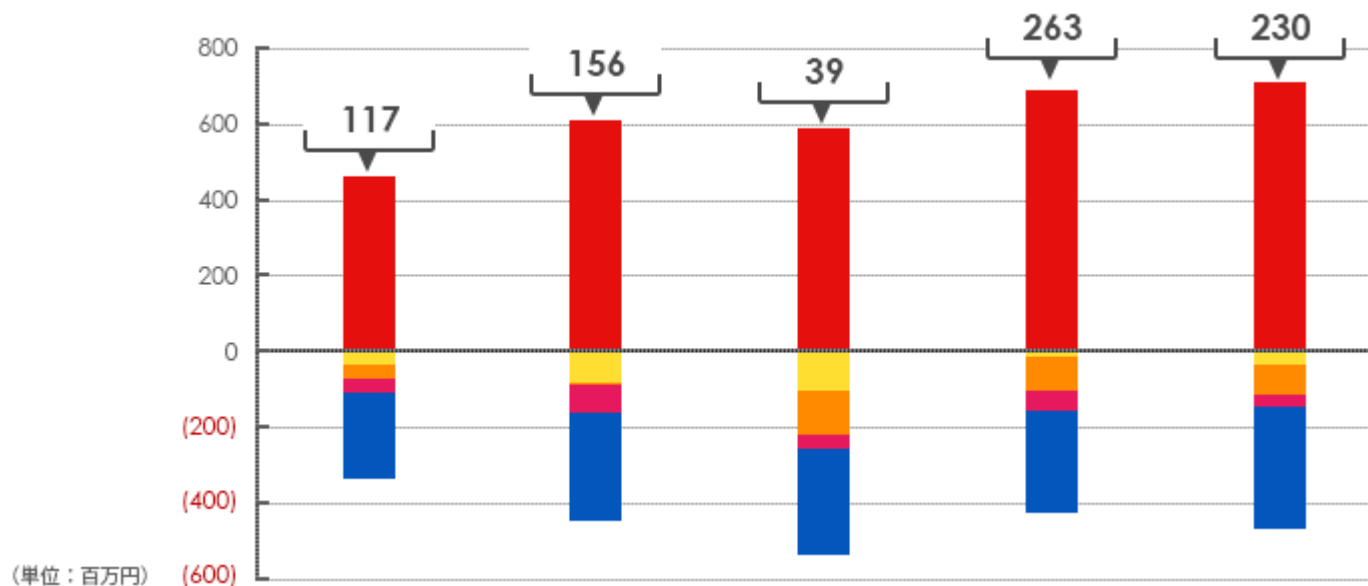
セグメント内識別連結売上高構成比四半期推移



※2013年3月期第1四半期より、従来の「フィーチャーフォン（旧モバイル）」に含まれていたアフィリエイト広告「Smart-C（スマートシー）」のスマートフォンでの売上をスマートフォンに含めています。

4. 補足資料

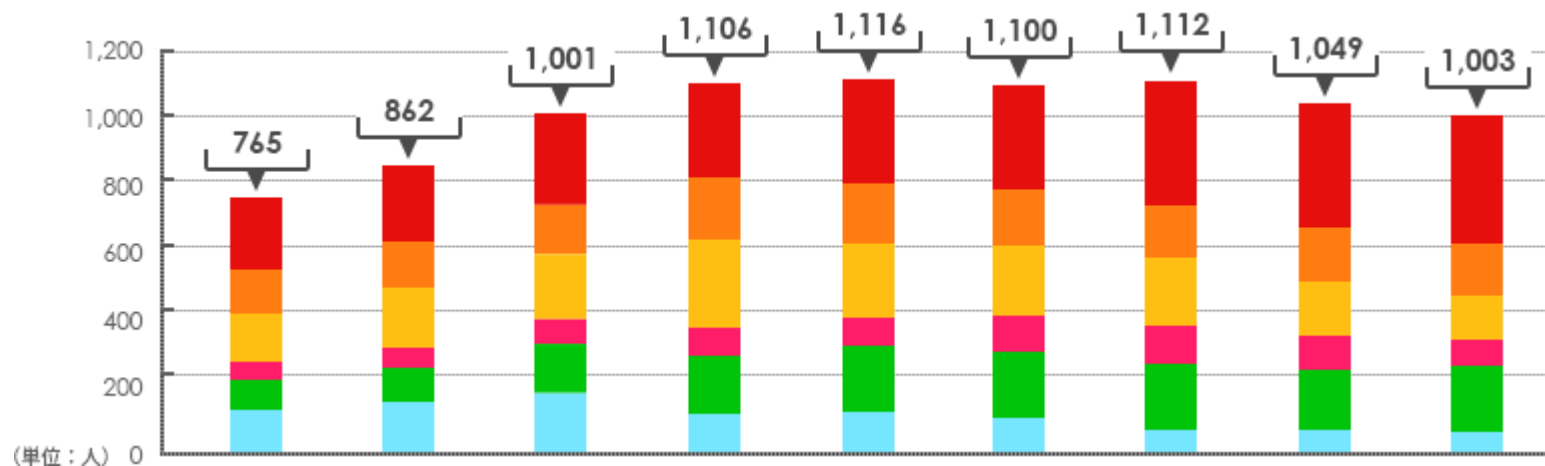
セグメント内識別連結営業利益構成比四半期推移



	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/3Q	前四半期比	
増減額						増減額	増減率
広告	465	613	591	688	710	+21	+3.1%
海外広告	▲348	▲85	▲109	▲3	▲37	▲34	—
アプリ	▲42	▲12	▲122	▲97	▲87	+9	—
メディアその他	▲31	▲73	▲32	▲52	▲28	+24	—
消去又は全社	▲235	▲284	▲288	▲270	▲326	▲55	—
合計	117	156	39	263	230	▲36	▲14.0%

4. 補足資料

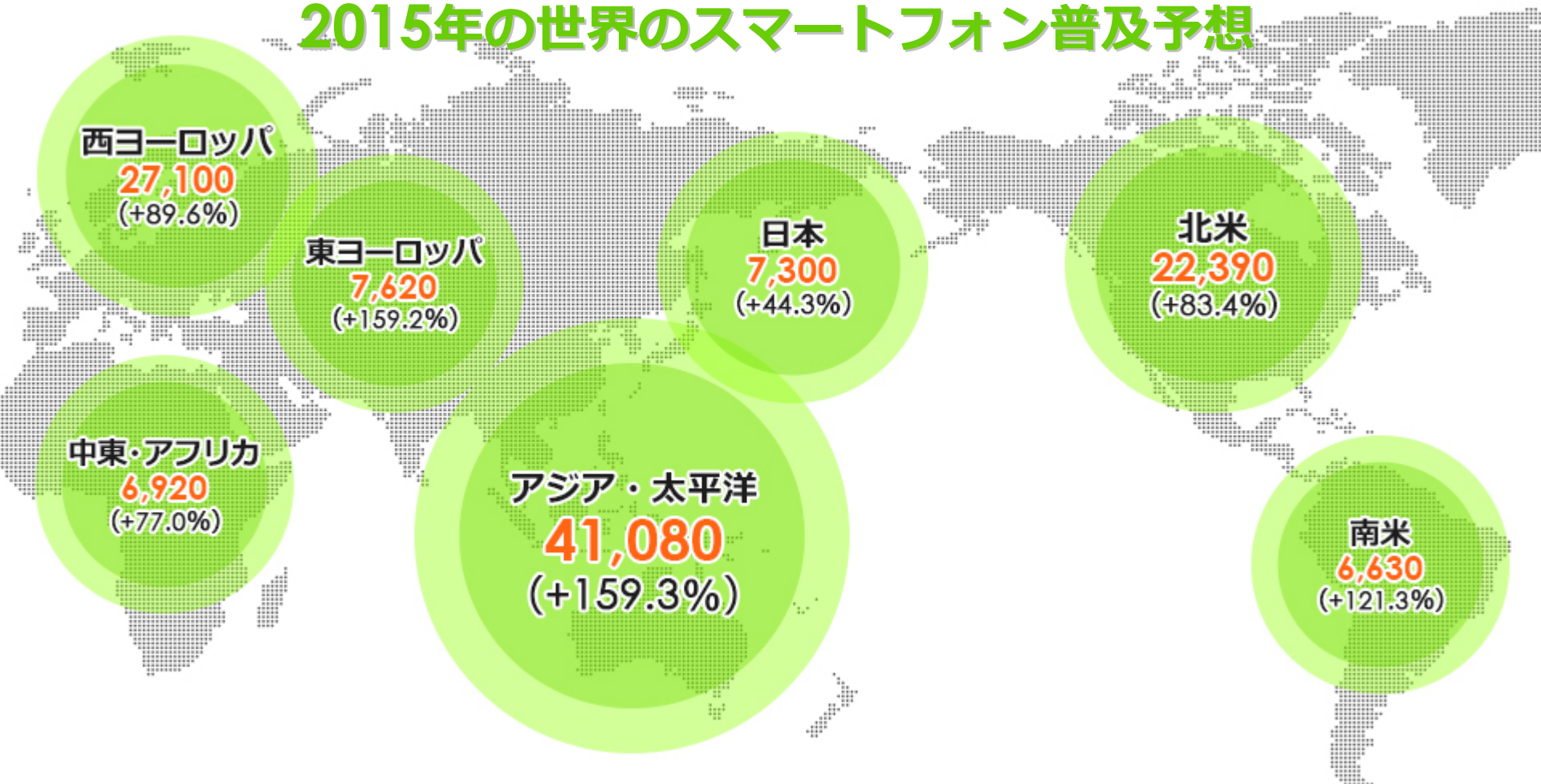
当社グループの従業員数 四半期推移



	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/3Q
日本アドウェイズ	213	231	272	282	305	309	368	374	377
中国アドウェイズ	133	138	142	185	181	169	154	163	150
中国開発センター	139	174	189	256	219	210	206	159	132
国内子会社	56	56	70	88	89	102	111	103	78
海外子会社（中国以外）	84	100	149	171	190	195	192	184	201
派遣／アルバイト等	140	163	179	124	132	115	81	66	65
合計	765	862	1,001	1,106	1,116	1,100	1,112	1,049	1,003

4. 補足資料

2015年の世界のスマートフォン普及予想



出典：eMarketer ※増減率は2011年比

(単位：万件)

4. 補足資料

会社概要

会社名	株式会社アドウェイズ（英名：Adways Inc.）	
設立年月日	2001年2月28日	
事業概要	インターネット関連事業	
代表者氏名	岡村 陽久	
資本金	1,487百万円	[2013年12月末日現在]
売上高	22,639百万円	[2013年3月期連結]
従業員数	1,003名（臨時雇用者含む）	[2013年12月末日現在]